

(平成22年10月24日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成22年度 (第2回) 会計実務検定試験 財務諸表分析

審査基準

【1】

問1

1	2	3	4	5
イ	ア	ウ	キ	カ
6	7			
ケ	ク			

各1点×7=7点

問2

a	b	c
イ	カ	ア

各2点×3=6点

【2】

1	2	3	4	5
カ	才	サ	ウ	工
6				
セ				

各3点×6=18点

【3】

問1

	分析指標	M社	N社
①	総資産負債比率	66.39 %	66.37 %
②	流動比率	125.82 %	144.18 %
③	当座比率	77.02 %	76.52 %
④	売上債権対仕入債務比率	104.96 %	137.73 %
⑤	固定長期適合率	88.05 %	71.14 %

各3点×10=30点

問 2

総合的に判断すると、(N) 社は、(M) 社より安全性において優れている。

各 3 点 × 1 = 3 点

理由
① 短期の安全性についての視点 流動比率はN社の方が上回っているが、当座比率はM社の方が少し上回っている。しかしながら、売上債権対仕入債務比率をみるとN社の方が高いので、当座比率が低いことは問題にならないと考えられる。したがって、N社の方が優れている。
② 長期の安全性についての視点 総資産負債比率はほとんど変わらない。しかしながら、固定長期適合率についてみるとN社の方がはるかによい。したがって、N社の方が優れている。

各 4 点 × 2 = 8 点

【4】

①	②	③	④	⑤
a	a	a	b	b
⑥				
a				

各 2 点 × 6 = 12 点

【5】

問 1

①	②
a	b

各 2 点 × 2 = 4 点

問 2

1	2	3
ウ	カ	才

各 2 点 × 3 = 6 点

問 3

株 価 収 益 率	8.6 倍
株 価 純 資 産 倍 率	1.6 倍

各 3 点 × 2 = 6 点